

平成26年度第3回岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会議事概要

日 時 平成26年10月17日（金）14：30～16：10

場 所 岡山大学本部棟6階 第二会議室

出席者 小長会長、陶浪副会長、小谷副会長、荒木副会長、阿部理事、許理事、川本（平）理事、千原理事、岡本理事、有岡理事、上村理事、藤沢理事、川本（一）理事、竹崎理事、浜田理事、貞本理事、保科理事、坂東監事、森田顧問
横平徳美氏（富田理事代理）、小川潔氏（門野理事代理）

欠席者 松本理事、窪木理事、富田理事、門野理事、浅利理事、酒井理事、張理事、竹原理事、近藤監事、金光顧問

議 事

1 審議事項

（1） 次期役員の改選について

小長会長から、現任の役員の任期満了日が平成27年3月31日までとなっていることに伴い、次期（平成27年4月1日～平成29年3月31日）の役員の改選を行うことについて、資料1の役員・顧問名簿（案）に基づいて説明があった。ときわ会の保科理事が、輪番による持ち回りで、次期はほおゆの小橋利美氏に就任いただく予定となったが、その他の役員・顧問については、今期から引き続いて次期も就任するという事で総会に諮ることとなり、原案のとおり承認された。

（2） 岡山大学 Alumni（全学同窓会）事業について

はじめに「支部活動活性化支援事業」について、小長会長の指名により、事務局が資料2に基づいて、東京支部から提出された支部活動活性化支援事業申請書についての説明を行った。当該申請は、岡山大学に関わりのある属性を登録している Facebook 利用者に、Alumni や Alumni 東京支部のイベント広告を発信することにより、多くの人に Alumni を知ってもらい、新たな会員の発掘に繋げるための広報活動を試みるもので、同時にこの活動の効果の検証についても行うこととし、必要経費（上限15万円）の支援を申請するものである。審議の結果、申請のとおり承認された。

次に「グローバル人材育成支援事業」について、今回、資料3の「グローバル人材自己啓発奨励金事業募集要項」が完成し、募集を開始するはこびとなったことについて、事務局から報告があった。また、この事業は、募集から選考に至るまでの作業は岡山大学グローバル・パートナーズが行うが、選考に際しては、Alumni の役員からも選考委員として参加することになっており、候補者については予め小長会長にも相談し、個別にも相談したうえで、文系から松本

理事（経済学部長）、理系から川本（平）理事（理学部同窓会）、生命系から浅利理事（医学部同窓会）の3名を選考委員とすることについて説明があり、審議の結果、承認された。なお、大学側からも3名（文系、理系、生命系）の委員を選出し、委員長は荒木事務局長が担当副学長として務め、計7名の選考委員会となることについて補足があった。

(3) 会報第2号について

小長会長の指名により、事務局から資料4に基づき、会報第2号の編集方針について説明があった。第2号は全16ページとし、創刊号を踏襲しながら関係各位へ原稿執筆の依頼をすることとし、中でも「アクティブ岡大人」のコーナーでは、今回、地方創生本部が設置されたことに関連して、真庭市のバイオマス研究が注目を浴びていることを受け、地域創生に携わる研究をしている同窓生等に執筆をお願いする予定である旨説明を行い、審議の結果、原案のとおり承認された。

(4) 岡山大学 Alumni（全学同窓会）総会について

小長会長の指名により、事務局が資料説明を行った。総会次第の第一部の審議事項については、これまでに開催された理事会において承認されたものを、最高意志決定機関である総会において審議するもので、また、第二部では、今年度設立された東京支部、愛媛県支部の他、国際同窓会からそれぞれの近況報告や今後の展望についてご紹介いただくこととし、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 報告事項

(1) 平成26年度事業の進捗状況について

小長会長の指名により、それぞれ以下のとおり報告があった。

平成27年度会費納入案内について

事務局から、資料5に基づき、各学部等同窓会から取りまとめた原稿をもとに案内パンフレットの作成を進めており、完成し次第、新入生への配付準備に入る予定である旨報告があった。

ネットワークシステムについて

事務局から、現在、同窓生に対する直接的な情報発信は、年1回の会報の郵送のみで、日常的に情報を直接発信する仕組みが無く、また、会員同士がコミュニケーションを取り合う手段も限られており、そういった状況を補完し、より活発なコミュニケーションを支援するため、ネットワークシステムの導入を検

討している旨報告があった。資料6に基づいて、システムの概要、登録の流れ等についても説明を行った。

〔主な意見〕

*このシステムは、他人になりすまして登録できるのではないか？本人確認作業は非常に難しい問題である。

*このシステムと就職支援をどのように結びつけていくかが重要なポイントになる。会員同士で就職情報の交換ができるようになれば、3、4年生の登録者の増加も見込める。そのような学生に対し、我々同窓生が就職支援をすることによって、その学生が卒業する際に、自らも会員として支援しようという意識が生まれると思う。

*名前はわからないまでも、自分が就職を志望する企業に岡大の同窓生がいることが把握できたり、あるいは、共同研究をする機会を生んだり、岡大の人材リソース管理も可能にするようなシステムになればよいと思う。

愛媛県支部設立について

貞本理事（愛媛県支部代表幹事）から、去る9月13日に松山市伊予鉄会館でAlumni 愛媛県支部設立総会が開催され、森田学長は海外出張のためご欠席となったが、小長会長、荒木理事、槇野病院長はじめ、多くの方にご出席いただき、盛会であったことについて報告があった。

広島支部設立に向けた検討状況について

川本(一)理事（広島支部設立準備会世話人代表）から、現在、来年の夏頃の設立に向けて準備を進めており、法文経学部、医学部、農学部、薬学部、歯学部、工学部、教育学部の世話人の方に協力いただいている旨報告があった。できれば、全学部そろっての設立を目指したいので、理学部、環境理工学部で世話人になっていただける方がおられたらご紹介いただきたい、との申し出があった。

3 その他

(1) 平成27年3月卒業生・修了生からの会費徴収の検討について

小長会長の指名により、事務局から説明があり、今後、平成27年3月の卒業生・修了生からも会費徴収を行い、学位授与式終了後、各学部で学位を渡す際に、会費納入のお願いを添えることを考えおり、このことについては、各学部・研究科に対して協力を依頼することとしている。また、卒業式（修了式）の次第に、アナウンスする機会を入れてもらう等、工夫していきたいと考えている。各学部等同窓会にもお願いすることがあるかもしれないがご協力願いたいとの申し出があった。

〔主な意見〕

- *会費納入率向上のためには、特典をつけることが効果的である。
- *まずは同窓生から積極的に会費を納入してもらい、基金としていくことが重要である。
- *東京では、支部総会とは別に各学部の代表が集まって懇談会を開催し、各学部等同窓会からもPR活動を行っていこうという取り組みがなされている。

(2) ホームカミングデイ 2014 の開催について

小長会長の指名により、事務局から資料8に基づき、明日開催するホームカミングデイ 2014 において、歓迎式典、Alumni 総会、ウェルカムパーティーの他、ミュージックフェスティバル、同窓生・在学生らによるお店等、企画内容の一部について案内があり、同日オープンするJテラスカフェについても紹介があった。

以 上